

平成30年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立妻沼高等学校)

目指す学校像	母校を誇れる生徒を育てる学校
--------	----------------

重点目標	1 「学び直しから大学進学まで」を保障するため、分かりやすい授業・伸ばす授業を実践する。 2 「礼儀、身だしなみ、時間厳守」を指導の基本として、思いやりの心と規範意識を醸成する。 3 体験活動・キャリア教育等を実践し、進路意識を高め、一人一人の進路実現を図る。 4 地域と連携し、学校行事・生徒会活動・部活動等の活性化を図り、開かれた活力ある学校づくりを行う。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A ほぼ達成(8割以上)
	B 概ね達成(6割以上)
	C 変化の兆し(4割以上)
	D 不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (2月1日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 成績優秀者、皆勤者が増加する一方、転退学者がやや増加傾向にある。 【課題】 学習習慣や基礎基本の定着を必要とする生徒、大学等への進学を希望する生徒など、本校に寄せられる様々な期待に応える取組を一層推進する必要がある。	カルティベートタイム(CT)を軸とした教育活動の更なる充実と支援体制の継続	①全教職員によるCTの共通理解 ②長期休業中の補習日程に合わせたスクールバスの運行 ③英検、漢検等の各種検定試験の受検指導の充実 ④授業時間の確保とR80の実施	①CT研修会の実施(年2回) ①CT委員会の開催(毎月) ②欠点保有者の減少 ②転退学者の減少 ③受検者の増加 ③1級、準1級等上位級合格者の増加 ④学校行事等の見直し ④R80の定着	①CT委員会を毎月開催し、教材の見直し、評価の在り方等について、継続的に検討を重ねることができた。また、年度当初にCT研修会を実施し、新転任者への意思統一を図った。 ②欠点保有者に対する追調査を毎学期実施した。授業満足度は68.4%(昨年度比マイナス0.8ポイント)であった。また、成績優良者が増加する一方、中途退学者、転学者なども一定数いるなど、生徒の二極化傾向が解消されなかった。 ③補習体制が確立され、漢検2級などの資格取得者が増加した。 ④行事翌日若しくは後日実施していた閉会式(表彰)を行事当日等に実施するなどメリハリある行事を実施することができた。また、授業確保を基本方針とした次年度行事計画を立案することができた。 ④互いに学び合う授業公開と改善に向けた研修会を実施した。 ④R80が少しづつではあるが定着してきた。	B	【課題】 ・「成績優良者、皆勤者」と「中途退学者、転学者、問題行動のある生徒」の二極化の解消 【改善策】 ・今年度毎月実施したCT委員会を、来年度も毎月開催し、継続して生徒の実態に合わせた教材選定等に取り組む。 ・校内の学び合いのネットワークを更に推進し、授業公開・改善週間の実施以外にも意見交換できる場を設定する。また、他校の公開授業等にも積極的に参加したい。 ・授業確保、メリハリある行事計画の実践に努める。 ・自分の考えをまとめる力の育成に向け、R80の定着に努める。 ・学びの基礎診断の実施と検証に取り組む。 ・授業時間の確保に努める。
2	【現状】 全教職員の努力により、「落ち着いて良い学校になった。」という評価をいただけるようになった。 【課題】 生徒情報の共有化、生徒指導体制の更なる充実を図り、母校を誇れる生徒を育てていく必要がある。	本校の指導基本「礼儀・身だしなみ・時間厳守」の徹底及び保護者、外部専門機関等との協力体制の確立	①挨拶指導を含む校門・登校指導、遅刻指導の実施 ②全教職員による「礼儀・身だしなみ・時間厳守」指導の実施 ③LHRや総合的な学習の時間を活用した、非行防止教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室、ネットトラブル防止教室等の実施 ④校歌指導の充実 ⑤生徒情報の共有化 ⑥外部専門家(SC、特別支援巡回支援員、多文化共生推進員等)や、外部専門関係機関等を活用した生徒支援	①欠席、遅刻、早退者数の減少 ②③問題行動による指導件数及び中途退学者の減少(昨年度比-25%) ④生徒アンケートにおける母校となる妻沼高校を良くしたいと思う生徒の増加(前年度比+10%) ⑤問題行動等の事前予防、早期解決 ⑥保護者アンケートにおける学校満足度の向上(前年度比+5%)	①時間厳守の意識を醸成させるため、年間5回の登校指導を実施した結果、皆勤者数が前年度に比べ増加した。 ②③生徒指導件数が、1年生を中心に昨年度より大きく減少(昨年度比マイナス42.4ポイント)した。また、年度途中の中途退学者も大きく減少(昨年度比マイナス52.1ポイント)した。 ④生徒アンケートの結果、母校となる妻沼高校を良くしたいと思う生徒が若干減少(71.7%、昨年度比マイナス2.8ポイント)したが、校歌を歌いたい生徒が増加(77.9%、昨年度比プラス5.6ポイント)した。 ⑤スクールカウンセラー、多文化共生推進員、特別支援巡回員、コーディネーターが連携を密にし、特別な支援が必要な生徒への支援体制が確立した。 ⑥保護者アンケートの結果、学校満足度が若干低下(89.4%、昨年度比マイナス1.2ポイント)した。	B	【課題】 ・新入生を含めた全校生徒全員が、母校を誇れる生徒となるよう指導を継続する。 【改善策】 ・母校をキーワードとした指導の充実。 ・校歌を歌う機会を増やす。 ・特別支援に関する研修会を継続的に実施する。 ・スクールカウンセラー、特別支援巡回支援員などの情報共有を一層密にし、生徒の心のケアに努める。 ・外部専門機関(警察、児童相談所等)等と連携し、問題行動の事後対応ではなく、問題行動が生ずる前又は早期に解決・対応できる体制づくりを行う。
3	【現状】 学校紹介による就職希望者は全員内定し、卒業生の進路決定率も90%を超えられた。 【課題】 全卒業生の希望進路の実現に向け、引き続き3年間を見通したキャリア教育を計画的・組織的に行っていく必要がある。	全ての生徒の希望進路の実現に向け、将来の目標、希望を早期に意識させる進路指導体制の構築	①進路追跡調査、過去データの分析 ②進路決定率と就職内定率(学校紹介)の向上及び早期離職防止策の検討 ③外部関係組織(熊谷市、商工会、ハローワーク、りそな銀行等)との協力・連携 ④PTA、ハローワーク、就職支援アドバイザー等による面接指導の充実 ⑤進路報告会の実施	①効果的な進路計画の立案 ①「進路の手引き」の活用(随時) ②進路決定率90%、就職内定率100%(学校紹介)、早期離職者の減少 ③地元企業との関係強化(企業説明会の実施、熊谷市商工会との連携) ④段階的な面接指導(他校との合同集団模擬面接、PTA・ハローワーク・就職支援アドバイザーによる模擬面接の実施) ⑤3年生が1、2年生に進路に対する心構えや体験を伝える「進路報告会」の実施	①進路の手引きを活用し、計画的な進路指導を実現した。また、ハローワークが実施する学校外での進路相談会に複数回参加し、生徒の就職への意識を高めた。 ②12月末現在、進路決定率86.1%(昨年度比プラス7.1ポイント)、就職内定率89.1%(昨年度比マイナス1.9ポイント)(学校紹介)と、進路決定者の人数が大きく向上した。 ③地元企業等(熊谷市、ハローワーク、熊谷市商工会、りそな銀行)と連携した就職説明会を昨年度に引き続き実施した。 ④PTA模擬面接は台風のため実施できなかったが、ハローワークによる面接(9月12、13、14日)、就職支援アドバイザーによる面接指導を35日実施した。 ⑤3年生から1、2年生に対して進路に対する心構えや意気込みを伝える進路報告会を、今年も1月24日(木)に実施予定。	B	【課題】 ・入学時から将来の進路について考えさせる 【改善策】 ・ハローワーク主催の進路相談会等への積極的な参加を図る。 ・就職支援アドバイザー等を活用した面接指導等の充実を図る。 ・早期離職防止策について検討する。 ・進路自己開拓(学校紹介以外)者への指導の在り方について検討する。 ・「礼儀・身だしなみ、時間厳守」の指導の徹底を図る。
4	【現状】 以前に比べ部活に加入し活動する生徒、大会に出場する部が増えたことで学校に活気が出てきた。 【課題】 部活動の加入率を更に向上させるとともに、学校行事の活性化を図っていく必要がある。	学校行事、部活動等を通して、心身ともに豊かな人間性の向上と学校の活性化の推進	①PTA・後援会と連携した学校行事の実施 ②近隣小学校、中学校及び地域との連携 ③40周年記念事業の実施 ④部活動加入率の向上、大会への参加 ⑤ホームページの充実	①学校行事、PTA・後援会活動への保護者参加者数の増加 ②地元小学校、中学校との交流事業の充実 ③記念式典実施、記念誌の発行 ④部活動加入率の向上(10%) ⑤学校の様子等のHP随時発信、更新	①節目ごとに保護者宛て一斉メールを配信し、学校行事等について周知を図ることで、PTA行事への参加者が昨年度と比べて大きく増加した。また、全県PTA研修会では、北部地区代表としてPTA会長が発表するなど、その役割を果たした。 ②ボランティア部と生徒会が、6月と11月に長井小学校との交流会に参加した。また、吹奏楽部、写真部、生徒会等の生徒が、めぬま祭、妻沼文化祭、妻沼手作り市、さわた文化祭等、地元行事に参加した。 ③40周年記念式典を厳粛に実施することができた。また、記念誌を発行した。 ④部活動の加入率は、42.9%(昨年度比プラス3.3ポイント)と文化部を中心に伸びた。 ⑤ホームページの閲覧者が増加し、学校の情報を広く提供することができた。	B	【課題】 ・活気あふれる学校づくり 【改善策】 ・部活動加入者の増加、活性化、放課後の有効活用等について検討する。 ・発信情報をリツイートしてくれる妻沼高校のファンを増やす方策について検討する。 ・地元開催行事等に引き続き積極的に参加し、学校アピールに努める。 ・PTA活動の更なる活性化を図り、総会、理事会等、保護者の来校回数を増やす。 ・創立40周年記念式典で育んだPTA・後援会・同窓会と連携を今後も継続していく。

学校関係者評価	実施日 平成31年2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・カルティベートタイムは、学び直しにとっても良い取り組みである。地道な積み重ねが生徒の自信につながっていると感じた。 ・先生からの問いかけに、生徒が反応良く答える授業を見ることができた。 ・ICTを用いた授業に取り組んでみるのもよいかもしれない。
・教室内の整理整頓に努めて欲しい。机の上にペットボトルを置いたまま授業を受けたり、後ろのロッカーの上に荷物が乱雑に置かれている状況は改善した方がよいと思う。	・40周年記念式典での校歌斉唱は、体育館中に響き渡る素晴らしいものだった。今後、校内だけでなく、地元行事などに参加した際にも歌ってみると愛校心の高揚にさらに効果があると思う。
・来年度写真部が全国大会に出場するとのことなので、生徒会を中心に盛大な壮行会を実施して欲しい。	
・県平均を上回る就職内定率は素晴らしいと思う。先生方の御尽力の賜物であると感じる。	・保護者対象の進路講演会などを企画してみてもよいかもしれない。
	・PTAとしても、模擬面接などをとおして生徒の希望就職の実現のため全力で支援させていただきたい。
	・既に取り組んでいるとは思いますが、就職後の離職を防ぐための指導をお願いしたい。
	・昨年度から始めた3年生による進路報告会はとてもよい企画だと思う。
・部活動、特に文化部の加入率が向上するなど頑張っていると思う。今年度は、野球部の単独出場や、写真部の全国大会出場が決まるなど、すばらしい成果があった。	・めぬま祭、妻沼文化祭等に積極的に参加するなど、地域との交流に積極的に取り組んでいると思う。来年度4月に行われる聖天様の御開帳も良い機会なので、ボランティア部や生徒会を中心に、何かやってみてもよいのではないかと。